

丸山淳子 著

変化を生きぬくブッシュマン

— 開発政策と先住民運動のはざままで —



世界思想社
2010年 352ページ
4800円+税

これまで多くの地域研究者が、伝統と近代を二項対立的に捉えるのではなく、対象地域に固有なモダンティの発現形態を明らかにすることの必要性を説いてきた。また多くの人類学者は、対象地域の人々を世界システムの犠牲者やその支配への抵抗者に仕立て上げるのではなく、構造的な制約下に置かれた人々の生活論理を丹念に探り当てることを、みずからの研究目的として掲げてきた。いうまでもなく、その課題を実証的かつ説得的に成し遂げることはむずかしい。わたしは、本書ほどに詳細なフィールド・データに依拠して上記の課題に取り組み、本書ほどに信頼を置きうる分析と印象に残る記述でその課題に応えた著作を知らない。

本書が対象とするのは、南部アフリカのボツワナ共和国、中央カラハリ動物保護区にくらしてきたブッシュマンである。彼らは、カラハリの原野で狩猟採集につよく依存した生業を営みながら、獲得した食料をたがいにおかちあい、超越した政治権威を戴かない平等主義的な社会を築いてきた。1997年、ボツワナ政府は「自然保護」と「生活改善」の名のもとに、ブッシュマンをその故地から約70キロ離れた再定住地へ移住させる。原野とは大きく異なる自然・社会環境下にある再定住地で、彼らがいかに従来の生活を再編しているのか、そしてその生活に開発政策や先住民運動がどのような影響を与えているのか、これが本書で取り扱われる主要な課題である。

著者は、対象社会の変化あるいは持続のどちらか一方に重点を置くのではなく、その両者の絡み合いの様相を丁寧に解き明かすことによって、再定住地にくらす人々が手にしている実現可能な生活の幅を過不足なく示すことに成功している。一方で本書には、賃労働の広がりによって住民間の経済格差が拡大しつつあることや、再定住地の行政を担う政治的役職が制度化されたことが記されており、ブッシュマンを特徴づけてきた平等主義的な社会構成が構造的な変化の只中に置かれている様子をうかがいしることができる。他方で著者は、人々が政府からの配給物を享受しつつ再定住地の周辺では狩猟採集を続け、各人が得た財を相互に分配しあっていることや、原野での居住規則を改変しながら再定住地付近での住居の配置に適用していることも、鮮やかに描き出す。彼らはなかば強制的に放りこまれた空間で、アクセス可能な機会や資源を取捨選択しながら利用することで、それまで自分たちが営ん

できた生活の連続線上にある場所として再定住地を構成しなおしている。

著者は、ブッシュマンの「主体性」を素朴に強調しているわけではない。むしろ本書の記述からは、ブッシュマンが外圧により強いられた新たな状況に「適応できすぎてしまう」ことが、トップダウン式の開発政策をより「持続的」なものにしてしまうというジレンマも、色濃く感じ取ることがができる。著者はそのジレンマを認識しながらも、培われてきた伝統と開発がもたらした変化の双方を取り入れながら、生活の再編を試みる人々の姿に共感し、彼らの日常実践のなかに、「近代か伝統か」という二者択一の選択を迫る「窮屈な世界」を乗り越える可能性を見出すのである。

そのような著者は、国際社会をおもな舞台として営まれている先住民運動に対して両義的な評価を下さざるをえない。運動は、国家に周縁化され続けてきたブッシュマンの苦境を世界に伝える役割を果たしてきた一方で、運動が掲げる「先住民の権利回復」というスローガンが、「再定住地での生活を捨てた伝統生活への回帰」をブッシュマンに迫りかねない危険も内包しているからである。それに対して著者は、欧米から輸入される形で広がった先住民運動が、いかに地域の当事者にとって有意義なものとなりうるのかを議論していくこと、そして人々が日々重ねている具体的問題への能動的な対処のあり方こそを基点に置いて、その議論を深めていく必要があることを指摘する。世界の他地域で進行中の先住民問題を考える際にも想起されるべき、説得力のある指摘だろう。

本書は、学術的な価値の高さにおいてはもちろんのこと、読み物としての完成度の高さにおいても傑出した著作である。各章の記述は、著者がフィールドで遭遇した驚きを率直に示すことから始まり、その驚きをもたらしたブッシュマンの生活論理を数量データの提示によって平易に解き明かしつつ、人々の印象的なことばやふるまいを書き連ねていく。少なくとも日本語で書かれた民族誌のなかで、本書ほどに調査地の人々の、そして調査者の「顔がみえる」民族誌はまれだろう。一般書には期待できない厚みのある描写と、窮屈な専門書からは失われてしまう瑞々しい文体を兼ね備えた、現代民族誌のマスターピースたる本書のご一読を多くの方にお勧めしたい。

(佐川徹／京都大学)